

令和元年 12月15日(日)

12:00開演(11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

喜多流 自主公演

令和元年 十二月

班 金

女 札

金子敬一郎 栗谷能夫

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。
 ※令和元年度公演の後半5回分は発売中です。
 ※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

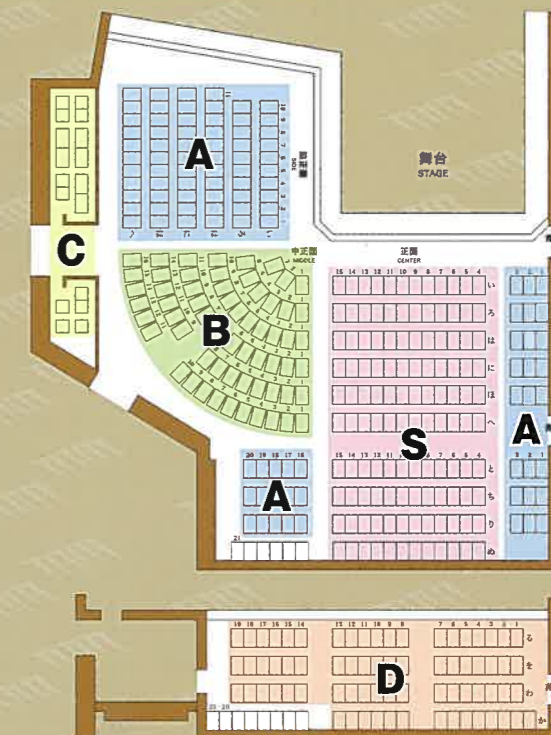
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観能はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。
 ※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

能

後シテ・天津太玉神
前シテ・老翁 粟谷能夫

金札

ワキ・勅使 殿田謙吉
ワキ連・従者 野口能弘
ワキ連・従者 野口琢弘
アイ・伊勢神宮の末社 河野佑紀

大鼓 原岡一之 太鼓 小寺真佐人
小鼓 田邊恭資 笛 一噌幸弘

地謡
谷 友矩 佐々木多門
佐藤 寛泰 内田成信
塩津 圭介 長島 茂
佐藤 陽 大島輝久

休憩(二十分)

狂言

宝の笠

シテ・太郎冠者 野村万蔵

アド主 能村晶人
小アドすば 野村万之丞

仕舞

天鼓

粟谷充雄

地謡
佐藤 陽
内田 成信
大島 政允
大島 輝久

休憩(十分)

能

後シテ・狂女
前シテ・遊君班女 金子敬一郎

班女

ワキ・吉田少将 工藤和哉
ワキ連・少将の従者 則久英志
ワキ連・少将の従者 舘田善博
アイ・宇治の者 能村晶人

大鼓 亀井洋佑
小鼓 大倉源次郎 笛 寺井久八郎

地謡
友枝 真也 中村 邦生
粟谷 充雄 大村 定
友枝 雄人 出雲 康雅
粟谷 浩之 粟谷 明生

附祝言

後見 香川靖嗣
高林 伸二

終了予定時刻 三時四十五分頃

金札(きんざつ)

桓武天皇の命をうけ、大宮造宮のため伏見に従者とともにやってきた勅使が、造宮の有様を語る。勅使が参詣にきた老翁に声をかけると、老翁は王法を尊び大宮造宮にちなんで木尽くしの歌を謡う。そこに天から金札が降ってくる。勅使がその文字を読み上げると、老翁は伏見のいわれを語り、自分は伊勢大神宮の使者である天津太玉神だと告げて消える。(中入) 伊勢神宮の末社から金札の一件を聞いた勅使が待つところに、天津太玉神が現れる。弓矢で武徳を現し、日本国を寿いで神威を示し社殿に入る。(約六十五分)

宝の笠(たからのかさ)

目の前に奇跡が起こるような宝を比べる宝競べが、最近世間で流行している。主人は太郎冠者に都へそのような宝を求めに行かせると、太郎冠者は都に行ったものの、宝がどこにもありどんなものかわからない。その太郎冠者のもとへすつばが近づき、自分が宝屋の亭主で、鎮西八郎為朝の鬼ヶ島から持ち帰った隠れ笠があるといい、古笠を売りつけられる。喜んで戻った太郎冠者が主人に着せるが姿が消えない。太郎冠者はすつばに騙されたことに気付くが、見えないふりをしてごまかす。主人に姿が消えるところが見たいといわれ、太郎冠者の嘘が見やぶられ追い込まれてしまう。(約三十分)

班女(はんじょ)

野上の宿の遊女花子は、東国へ下る途中に寄った吉田少将と深い契りを交わして以来、少将と交換した扇を離さず恋こがれてしま、他の客の前に姿を現さずに勤めを怠る。そのため主人から追い出される。(中入) 再び野上にやって来た少将は、そのことを知ったが花子の行方が分からない。花子へ都へ上るよう言伝を残し少将は都に帰り、賀茂神社に参詣をする。すると、若い狂女の姿の花子が来る。その狂女は、漢の故事から班女と呼ばれ、恋人の扇を胸に抱いて再会を夢みて舞を舞うのであった。その扇を見て少将は花子と確認し、従者に命じて花子を呼び寄せて少将の契りの扇を見せると花子の狂気もおさま喜びあうのだった。(約九十分)

令和二年 一月自主公演番組予告

令和二年 一月五日(日) 正午始
十四世喜多六平太記念能楽堂

氷室 中村邦生
鉢木 高林伸二